

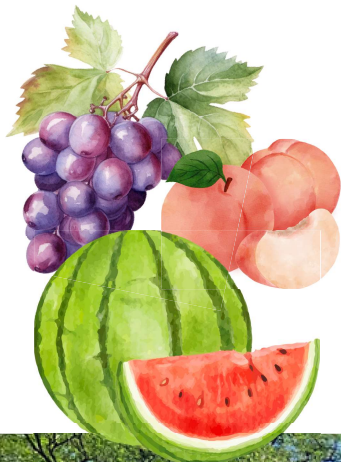
地域おこし協力隊通信



丹波山村
地域おこし協力隊

真夏の特大号

vol.20



暑中お見舞い申し上げます。

「また焼けたね」と、会う人に挨拶代わりに言われます。全国的に酷暑の毎日が続いており、ここ丹波山村でも去年を凌ぐ暑さに見舞われています。畑仕事や外出をされる方は、暑さ対策と水分補給に充分ご注意ください。

今月の協力隊通信は、ネタが豊富にありましたので、見開きでのプチ特大号となります。新しく協力隊に入った方の紹介や、協力隊OG・OBネットワーク TABANET. (タバネット) 主催の地域おこし協力隊 林間学校のレポートなど内容盛りだくさん。丹波山村で活躍する協力隊員の姿をご覧ください。

えっちゃんこと 柴田悦子さん しばた えつこ



この時、多岐にわたるお仕事を担い、日々お忙しい中、地域おこし協力隊の活動に積極的に参加されています。お忙しい中、地域おこし協力隊の活動に積極的に参加されています。お忙しい中、地域おこし協力隊の活動に積極的に参加されています。

8月に丹波山村に生まれ、京小平出身の柴田悦子さんは、東京で働く中、地域おこし協力隊の活動に興味を持ち、丹波山村に転職されました。入社後は、地域おこし協力隊の活動に積極的に参加されています。

タバネット
TABANET.

第一回

地域おこし協力隊
林間学校
in 丹波山村

7月25日、丹波山村地域おこし協力隊サポーターズ「TABANET.（タバネット）」主催の交流会「第一回地域おこし協力隊 林間学校 in 丹波山村」を交流促進センターで開催しました。村内の隊員13人に加え、山梨県内の他市町村で活動する隊員も13人、計26人が参加し、活発な意見交換や情報共有を行いました。

協力隊同士のリアルな交流

このイベントでは、地域おこし協力隊として活動する中で感じる疑問や悩み、卒業後の起業や定住に関する不安を率直に語り合いました。問題の解決を目指すというよりも、リアルな想いを共有することで、仲間の存在を確認し、活動の希望を見出せるような会にすることが目的でした。

最初にカードゲームを使ったアイスブレイクを行い、和やかな雰囲気の中でディスカッションに移りました。TABANET. に所属する協力隊OB OGも輪に加わりながら、現在の活動の内容や、任期終了後もどうやって地域に定着できるかなどを話し合いました。

協力隊をテーマにした映画「ひとしづく」を鑑賞

映画「ひとしづく」は、元地域おこし協力隊の山下大裕監督が、47都道府県を巡り、200人を超える地域おこし協力隊や関係者に取材した内容を基に制作した作品。この日は山下監督も鹿児島県南大隅町から会場に駆けつけ、山梨県内初上映で鑑賞しました。

《作品に込められた想い》

協力隊員と地域住民、行政職員の間で起こるボタンの掛け違いという、北海道の隊員でも沖縄県の隊員でも経験するであろう、共感ポイントを落とし込んだ。地域おこし協力隊としての活動の意義や価値を周りに理解してもらうには苦悩が伴うが、その先で得られるものがある。自分自身も47都道府県全てで上映会ができることを目指し、地道に積み重ねている。この映画を見た人にとって何かのきっかけにつながれば良いと思う。

映画鑑賞後は、バーベキューを囲んでの懇親会を開きました。丹波山村の協力隊員が捕獲した鹿の肉のローストをはじめ、地域の特産品を持ち寄ったにぎやかな宴になりました。夜風に当たりながら火を囲み、これからの抱負を語り合えた特別な時間となりました。



参加者からは「もっと話がしたかった」「ほかの隊員も悩みながら前に進んでいることが分かった」といった声が聞かれました。他地域で活動する隊員に丹波山村を知ってもらいたいきっかけにもなり、第二回の開催を望む声も多くありました。今後もTABANET. の活動にご期待ください。

猟友会射撃大会 フィールド射撃部門

伊東真由さん 快挙！

Congratulations!

レディース部門

2位

協力隊3年目

伊東真由



クレー（標的）を捕えた瞬間



東部猟友会 団体成績2位



順位	氏名	スコア
1	伊東真由	09
2	...	15
3	...	16
4	...	05
5	...	11
6	...	07

スコアボードスコア 3番が伊東さん

背中から伝わる気迫

空気を震わす破裂音が夏空に響く。オレンジベストに身を綴んだ山梨県内の猛者たちが一堂に会し、四年に一度の全国大会出場を目指し、日頃の研鑽を競う猟友会フィールド射撃大会が静岡県須山射撃場で7月20日に開かれました。

丹波山村からは予選を勝ち抜いた酒井由記夫さんと、レディース部門に協力隊員の伊東真由さんが出場しました。伊東さんは今回が初出場。最初は出場自体も特別積極的ではありませんでしたが、出場に備え、酒井さんの指導の下、猟友会の若いハンターと共に練習を重ねてきました。私も練習に付き合っていました。この日伊東さんが見せたパフォーマンスは、これまでの姿とはまるで違うものでした。

一言で表すなら「全集中」の状態。6人参加した女性選手の中では初心者組といった感じでしたが、試合が始まると、その雰囲気は一変しました。一位の選手にくらいつき、一歩も引かない白熱の接戦を繰り広げました。

フィールド射撃は、シングルトラップ、ダブルトラップ、スキートの三種目の合計得点で競います。最初のシングルでは、一位の選手に2点差まで追いつきましたが、ダブルでは経験の差を見せつけられ5点差に。最後のスキートでは1点の差をつけて見事勝利。一位との合計得点は6点差に終わり、惜しくも全国大会への出場は逃しましたが、初出場61点は快挙と言って良いでしょう。

試合後、伊東さんは「酒井さんにスキートを教えていただき勝つことが出来ました。課題のダブルトラップを今後練習していきたいと思えます」と話していました。

試合中に彼女の背中から発せられる緊張感に圧倒された一日でした。地域おこし協力隊員として丹波山村に来た人が新たな挑戦に目覚めた瞬間に立ち会えたことは、幸運というほかありません。今後の伊東さんの活躍に応援をお願いします。

山々に囲まれた丹波山村の
魅力を映像で発信！

丹波山あるき隊

まええびす ひさし

前夷 久志 編集・プロデューサー



協力隊3年目



グルメ番組のプロデューサーとしての知識と技術を活かし、現役協力隊員とOGの登山好きの人たちの協力を得て、丹波山村周辺の山々を撮影したものを映像作品として編集しています。

私は登山の経験はありませんし、そんな体力もありませんが、丹波山に住む人たちから聞いた山の魅力を知りたいと思い、他の協力隊員にカメラを持って登山してもらうことにしました。

実際にカメラを持って登山してもらうのですが、撮っている人はプロのカメラマンではありませんので、最初は地面ばかりが映っていたり、音声が上手く入っていなかったりと編集に苦労しましたが、アドバイスし、撮影回数をこなすことで段々と上手になってきています。レンズを通して伝わる山の美しさや素晴らしさを村外の人たちにも知ってもらいたいと思います。すでに何作品か出来ているので、11chや動画サイトに公開したいと計画しています。どうぞ、お楽しみに！

Filming 撮影班 crew



2人の現役協力隊員とOGの混成チーム。

山登りやトレイルランニングを趣味とする3人が撮影、演者を自ら行い、前夷さんの注文に応じて頑張っています。モデルコースを作り、区間ごとの実際の所要時間や注意すべき箇所、山の名前の由来や植物の説明など、登山を楽しみたい人に役立つ情報を動画に織り交ぜています。撮影の様子を見かけたら応援よろしくお願い致します！



田代 健太郎



常山 正吾



西山 寿恵

取材・編集 初田 登